

2 支援方法について

(4) 自己理解支援

- ・本人に適した工夫や選択、偏りに合わせた方法などを、一緒に検討し、納得の得られたものを実践する
- ・成功体験を実感できたものの中から、本人の強みや苦手対策を本人と一緒に整理し、言葉等にして明確にする
- ・別の場面でも応用できるか、支援者と一緒に事前に予測したり対策を講じたりして実践し、様々な体験を活用して自分の特性を整理していく
- ・将来の進路を想定し、予測対策と準備をする

支援者は、自己理解の助けとなるよう、本人に成功体験を提供して本人が理解できる範囲で言葉等に示すことを積み重ねていく。コミュニケーションの苦手さやメタ認知の弱さを抱えているということを前提にして、意図的に相談支援の機会をつくっていきます。併せて「相談技術」の向上も目指していきます。

